

評価者	こどもみらい部長	平井 あかね
評価者	健康福祉部長	田中 良一

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス
目標とすべきまちの姿	高齢者や障害児者をはじめ、支援を必要とするすべての市民のニーズに対応していけるようにすることにより、必要なサービスを身近な場所で選択できるような仕組みがつくられ、いつまでも健やかに暮らせる地域となります。また、市民や市民活動団体などの積極的な参画、連携により、多様な地域生活支援サービスを提供しています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	16.8%	平成30年度(2018年度)	15.4%	平成29年度(2017年度)	16.7%
	平成28年度(2016年度)	15.5%	平成27年度(2015年度)	17.6%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.7%	1.3%	0.2%
ちょうどよい	7.4%	41.8%	1.9%
効果不十分	6.4%	3.0%	12.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	6.1%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	7.3%	39.8%	0.8%
効果不十分	6.9%	3.5%	13.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	6.2%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	7.6%	38.7%	2.6%
効果不十分	6.0%	3.5%	13.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	6.0%	1.8%	0.0%
ちょうどよい	8.5%	38.0%	1.8%
効果不十分	6.2%	4.4%	13.0%

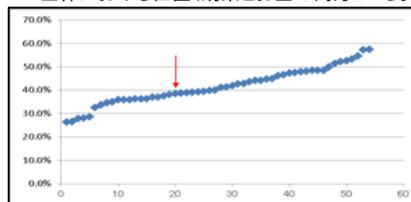
仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.6%	1.0%	0.4%
	ちょうどよい	8.3%	38.5%	1.1%
	効果不十分	7.4%	2.7%	13.2%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	25.3%	45.1%	6.9%	22.7%
平成30年度(2018年度)	27.6%	44.3%	7.4%	20.7%
平成29年度(2017年度)	31.6%	40.1%	6.7%	21.6%
平成28年度(2016年度)	27.5%	44.0%	7.8%	20.6%
平成27年度(2015年度)	24.7%	44.6%	6.7%	23.9%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

◎こどもみらい部

- ①発達障害を含む特別な支援を必要とする児童とその家族が地域で安心して生活できるようにライフステージに応じた一貫した継続的な支援を行う。(こども-35)
- ②5歳児すこやか相談事業について在宅及び市外への通園児への制度の周知方法を検討し、市広報、市ホームページ、LINE @への掲載頻度を高めていく。(こども-35)
- ③発達支援サポーター養成講座にて養成したサポーターの活動においてはサポーターと受け入れる学校へのフォローが必要であるため、教育指導課との連携を図りながら体制を整えていく。また、就学前の子どもの所属集団におけるサポーターの活用に向けて検討していく。(こども-36)

◎健康福祉部

- ①さらなる地域福祉推進のため、社会福祉協議会のさまざまな活動について、適切な支援を行っていきとともに、さまざまな福祉サービスの周知に努める。(健福-03)
- ②研修、講演会等を通じて、引き続き庁内外に向けた共生の意識の形成を図る。(健福-06)
- ③福祉総合相談窓口の運営により、個々の抱える課題の整理等を行うとともに、政策化に向けた課題抽出を行う。(健福-06)
- ④現行制度の運用を強化しつつ、新たに必要となる制度の検討、選定、設計を行う。(健福-06)
- ⑤一時生活支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業を実施する。(健福-12)
- ⑥生活保護世帯に対しては、経済的自立のみならず日常的、社会的自立に向けた支援を行っていく。(健福-13、健福-14)
- ⑦引き続き法人後見事業の安定した活動のため、引き続き鎌倉市社会福祉協議会を支援し、市民後見人の活用についても連携して取り組むとともに、市民後見人の育成についても取り組む。(健福-18)
- ⑧引き続き生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携し、高齢者の雇用を促進することで、高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する。(健福-23)
- ⑨障害者差別解消地域支援協議会を設置する。(健福-27)
- ⑩地域生活支援拠点等の整備についてR2年度実施に向け検討を進める。(健福-27)
- ⑪新規手当受給者に対し、支給決定について制度や条件が複雑なため、制度等の分かりやすい周知、窓口対応力の向上については引き続き取り組んでいく。(健福-28)
- ⑫グループホームの設置促進に向け取り組んでいく。(健福-29)
- ⑬タクシー券・福祉有償運送・自動車燃料費等の事業者との契約の自動更新について引き続き検討を行う。(健福-30)
- ⑭農業と福祉、水産業と福祉の連携において、市内における取り組みの充実を図る。(健福-31)
- ⑮障害者二千人雇用センターとジョブサポーターの連携を図る。(健福-31)
- ⑯医療費助成の適正化を確保し安定的かつ継続的な運営を図るため、今後も引き続き医療費助成の一部負担金のあり方について研究していく。(健福-32)
- ⑰鎌倉はまなみについて、平成32年度に完全民営化に向けた調整を進める。(健福-33)
- ⑱国民年金事務については、日本年金機構との連携を図りながら適正な事務執行を図りつつ、窓口や電話等で極力わかりやすく説明することで、国民年金制度について市民によりいっそう理解してもらえるよう引き続き努めていく。(健福-47)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

◎こどもみらい部

- ①②子供が所属する幼稚園、保育園、認定こども園と連携を図りながら、支援を必要とするこどもとその家族への支援を推進することで、必要なサービスを身近な場所で選択することができ、地域ですこやかに暮らすことが可能となる。(こども-35)
- ③地域における身近なサポーターの養成をはかり、実際の支援者として活動してもらうことで、身近な場所でのサポートが可能となり、地域で健やかに暮らすことができる。また、一般市民の発達障害等への理解がすすむことで、地域生活への支援の拡充を図ることができる。(こども-36)

◎健康福祉部

- ①社会福祉協議会が市民や市民活動団体等との連携を進められるよう、市が適切な支援をしていくことで、支援を必要とするすべての市民ニーズに対応できるよう努める。(健福-02)
- ②③④共生社会の実現が、高齢者や障害児者をはじめ、支援を必要とするすべての市民のニーズに対応することにつながる。(健福-06)
- ⑤⑥生活困窮者及び生活保護世帯に対し、経済的もしくは社会的な自立に向けた支援を行うことにより、誰もが健やかに暮らせる地域となる。(健福-12、健福-13、健福-14)
- ⑦認知症や精神障害等により判断能力が低下した人に対する支援の一つである、成年後見制度の利用を促進することは、支援を必要とする市民のニーズに対応し、いつまでも健やかに暮らせる地域の一助となる。(健福-18)
- ⑧高齢者の雇用促進は、社会参加や生きがいづくりの機会を与えていくことになるとともに地域課題の解決の一助にもなるため、高齢者の健康福祉や地域社会の活性化に繋がる。(健福-25)
- ⑨～⑰サービスや就労、人権擁護など様々な取組を継続的に行っていくことで、障害者がいつまでも健やかに暮らせる地域とするよう努める。(健福-27、28、29、30、31、32、33)
- ⑱国民年金事務については、市民の方々からの各種届出等にあたり、極力わかりやすく説明するなどして、年金という市民の生活に密接に関わる制度について、必要とするサービスを提供し、健やかに暮らせる地域づくりに寄与するよう努めている。(健福-47)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
こども-32	発達支援事業	44,259	41,452	11.4	11.4	無	a	A
こども-33	発達支援サポートシステム推進事業	2,336	470	0.3	0.3	無	a	A
こども-34	障害者施設管理事業	764	739	0.2	0.2	無	b	B
健福-02	社会福祉運営事業	32,099	38,573	4.2	4.6	有	b	B
健福-03	社会福祉協議会支援事業	51,666	49,495	0.7	0.8	無	b	B
健福-04	福祉センター管理運営事業	39,085	51,573	0.5	0.9	無	b	B
健福-06	共生社会推進事業	2,601	839	3.0	2.0	無	b	B
健福-07	社会福祉運営事業	404	938	0.5	0.5	無	b	B
健福-08	民生委員児童委員活動推進事業	38,070	38,289	1.0	1.0	無	b	B
健福-09	戦傷病者戦没者遺族等援護事業	3,667	3,621	0.4	0.4	有	b	B
健福-10	行旅病人死亡人援護事業	1,174	1,962	0.1	0.1	有	b	B
健福-11	中国残留邦人等支援事業	0	0	0.0	0.0	有	b	B
健福-12	生活困窮者自立支援事業	38,816	21,674	0.8	0.8	有	b	A
健福-13	生活保護事務	18,023	8,251	2.0	2.0	有	a	A
健福-14	扶助事業	2,088,476	1,987,748	10.7	10.7	有	b	A
健福-16	高齢者福祉運営事業	2,717	457	0.2	0.4	無	b	B
健福-17	高齢者施設福祉事業	73,400	81,876	1.6	2.5	無	b	B
健福-18	高齢者在宅福祉事業	19,947	20,456	2.0	2.5	無	b	B
健福-19	高齢者生活支援事業	5,719	5,670	0.5	0.5	無	b	B
健福-20	高齢者施設整備事業	35,925	31,484	0.9	1.2	無	b	B
健福-21	高齢者活動運営事業	30,790	31,590	1.8	1.9	無	b	B
健福-22	シルバー人材センター支援事業	35,749	34,422	0.3	0.3	無	a	C
健福-23	高齢者雇用促進事業	20,554	20,017	0.3	0.5	無	a	C
健福-24	在宅福祉サービスセンター管理運営事業	33,408	28,485	1.3	1.3	無	b	B
健福-25	老人福祉センター管理運営事業	266,478	208,063	0.9	0.9	無	b	B
健福-27	障害者福祉運営事業	265,946	253,145	6.5	6.5	有	b	B
健福-28	障害者生活支援事業	141,275	143,270	4.1	4.1	有	b	B
健福-29	障害者福祉サービス事業	2,745,290	2,565,592	4.7	4.7	有	b	A
健福-30	障害者社会参加促進事業	41,891	44,078	2.2	2.2	有	b	B
健福-31	障害者就労支援事業	530,270	509,150	4.0	4.0	有	a	A
健福-32	障害者医療助成事業	599,364	593,324	1.5	1.5	無	b	B
健福-33	障害者施設管理運営事業	43,449	33,014	1.0	1.0	無	c	C
健福-47	国民年金事務	1,385	5,305	5.8	5.8	有	b	B

#### (4) 主な実施内容

##### 【主な実施内容】

##### ◎こどもみらい部

- ①発達に関する多様な相談に対し、発達支援室の専門職による来所相談、電話相談、巡回相談等を実施した。
- ②5歳児すこやか相談事業を市内の幼稚園、保育園、認定こども園46園を対象に実施するとともに、在宅や市外園の利用児へ周知する方法として市広報、市ホームページ、LINE@への掲載頻度を高くして周知を図った。
- ③サポーター養成講座の初級講座及び初級講座全7回受講修了者を対象としたフォローアップ講座を実施。フォローアップ講座受講修了者で実際に小中学校での活動を希望する人を名簿登録し、市立小・中学校から10校をモデル校としてサポーターとしての活動を行った。

##### ◎健康福祉部

- ①地域福祉推進のため、社会福祉協議会のさまざまな活動について、適切な支援を行った。また、市社協の安定的な法人運営のため、自主的な財源確保策を検討した。(健福-03)
- ②③④鎌倉市共生社会の実現を目指す条例に基づき、共生社会に関する講演会等を開催し、市民や市職員の共生意識の醸成を図った。(健福-06)
- ⑤一時生活支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業を開始し、生活困窮者支援の充実を図った。(健福-12)
- ⑥ソーシャルインパクトボンドの試行的事業としての健康管理支援事業を実施し、助言・指導を行った。(健福-13)
- ⑦成年後見事業に関して、引き続き鎌倉市社会福祉協議会を支援し、市民後見人の活用についても連携して取り組むとともに、市民後見人活動支援のため、養成講座を実施した。(健福-18)
- ⑧生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携し、高齢者の雇用を促進するため、相談窓口の設置、就労啓発セミナー、合同就職説明会等を開催した。(健福-23)
- ⑨障害者差別解消地域支援協議会を令和元年6月に設置し、協議会を2回開催した。(健福-27)
- ⑩地域生活支援拠点等の整備について、相談支援事業所にアンケート調査や訪問などを行い、障害者支援協議会及び課内で検討を進めた。(健福-27)
- ⑪制度等周知のため作成している福祉の手引きを時点修正し、これを活用し、分かりやすく周知できるよう努めた。また、窓口等の対応に必要な知識等について、課内会議等で共有した。(健福-28)
- ⑫身体障害者を対象としたグループホームの設置のための補助金を予算化したが、設置案件がなかった。身体障害者を対象とするグループホームを設置している県内法人に対し調査を実施した。(健福-29)
- ⑬タクシー券・福祉有償運送・自動車燃料費等の事業者との契約の自動更新について、令和2年度契約から実施できるよう準備を行った。(健福-30)
- ⑭農福関係団体より要望を聴き取り、支援制度の構築の検討を進めた。(健福-31)
- ⑯障害者二千人雇用センターとジョブサポーターの連携の仕組みを構築するため、雇用センターの専門相談員がジョブサポーターを支援する仕組みの調整を行った。(健福-31)
- ⑰鎌倉はまなみの施設設備の維持修繕や運営に必要な備品を購入するとともに、民営化に向けた検討・調整を進めた。(健福-33)
- ⑱国民年金に関する資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請等の受理・審査、及び外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談等を行った。また、全国都市国民年金協議会(全国の市及び区の年金担当課が加盟する組織)に対し、年金制度改善について国に要望するよう要望書を提出した。(健福-47)

##### 【実施できなかった事業とその理由等】

##### ◎健康福祉部

- 福祉総合相談窓口の体制及び相談環境が十分ではない面もあることから、市民の個別化・複雑化する課題に対応できるよう相談体制等を拡充していく。(健福-06)
- ②就労準備支援事業及び家計改善支援事業について、受入可能人数に達していないため、支援が必要な方の掘り起こしを行うなどして利用者の増を図っていく。(健福-12)
- ③コロナウィルスの感染症拡大防止策の影響による飲食店の閉店等による失業者の増加など、事業の対象者数の大幅な増加に対応出来る人員配置の検討などが必要である。(健福-13、健福-14)
- ⑬障害者医療助成事業については、県内他市町村の一部負担金導入実績等の動向を確認したが、導入実績は見られなかったため、今年度中の導入を見送った。(健福-32)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

◎こどもみらい部	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
<b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>	
<p>①発達支援室の専門職が、子供の発達に関する相談について、来所相談、電話相談、巡回相談などで支援を行い、保護者の相談にニーズに対応することができた。</p> <p>②5歳児すこやか相談事業を市内の幼稚園、保育園46園を対象に実施するとともに、在宅や市外園の利用児へ周知する方法として市広報、市ホームページ、LINE@への掲載頻度を高くして周知を図った。</p> <p>相談票の回収率は89.7%で、発達障害の早期発見、早期支援や保護者の相談機会の確保のための成果が見られた。</p> <p>③サポーター養成講座の受講修了者のうち、12人が実際に市内小中学校のモデル校10校にて活動を行い、身近な支援者を育成することができた。</p>	
◎健康福祉部	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>
<b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>	
<p>&lt;福祉総務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の活動に対し支援を行うことで、地域福祉の推進を図った。また、福祉システムの運用、福祉センターの維持管理等はある程度固定的経費であるため、事業全体としてはほぼ適切な事務費で執行した。(健福-02)(健福-03)(健福-04)</li> </ul> <p>&lt;生活福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者に対し、新たな支援メニューを用意したことで、支援体制の充実を図ることができた。(健福-12)</li> <li>・新規開始事業について、受入可能人数を下回っているため、支援が必要な方の掘り起こしを進めるとともに、適切な事業規模での執行を検討していく。(健福-12)</li> </ul> <p>&lt;高齢者いきいき課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人活動支援のため、社会福祉協議会に養成講座(実践研修)を委託し5人の鎌倉市民が講座を修了することができた。(健福-18)</li> <li>・生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携して各種事業を実施し、126名の就業を決めることができた。(健福-23)</li> </ul> <p>&lt;障害福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者等へのサービス利用調整、障害者差別解消地域支援協議会の設置、手当や助成の支給、施設管理運営等を通じ、障害者等の生活の安定や社会参加の促進を図ることができた。(健福-27)(健福-28)(健福-29)(健福-30)(健福-32)(健福-33)</li> <li>・障害者2千人雇用センターの運営や就職面接会の開催等により、障害者の就労を支援することができた。(健福-31)</li> </ul> <p>&lt;保険年金課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民年金事務については、法定受託事務であり事務執行に市の裁量が働く余地はないが、法令に基づく事務の適正な執行を行った以外に、窓口や電話において制度や保険料納付、免除等について極力分かりやすい説明を行うなど、市として実施可能なサービスをもって市民の年金受給権の確保につなげることができたものと考えている。(健福-47)</li> </ul>	

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	こども-32	事業名	発達支援事業						備考		
指標の内容	相談・支援延べ人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
相談のニーズを把握し、ニーズに応じた相談支援体制を構築するための指標	目標値	-	5,393	5,375	4,979	4,915	4,839				
	実績値	5,305	5,096	4,535	4,724	4,536	4,742				
	達成率	-	94.5%	84.4%	94.9%	92.3%	98.0%				
整理番号	こども-33	事業名	発達支援サポートシステム推進事業						備考		
指標の内容	サポーター養成講座参加実人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
発達障害について、学び身近な支援者として活動できる人材育成の充実をはかる指標	目標値	-	-	-	-	150	150				
	実績値	-	-	-	106	154	155				
	達成率	-	-	-	-	102.7%	103.3%				
整理番号	健福-03	事業名	社会福祉協議会支援事業						備考		
指標の内容	人件費の見直し						単位	-	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	給与改定は平成30年度に実施済み。			
補助金交付に当たり、適切な給与水準を促すため(本市職員の給与に準じた給与体系となっていない)	目標値	-	-	-	給与改定	給与改定	-				
	実績値	-	-	-	協議実施	給与改定	-				
	達成率	-	-	-	-	-	-				

整理番号	健福-07	事業名	社会福祉運営事業							
指標の内容	保護観察対象者の市雇用人数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成31年3月から制度開始		
保護観察対象者の自立を支援することが本事業の目的であるため	目標値	-	-	-	-	-	1.0			
	実績値	-	-	-	-	-	0.0			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
整理番号	健福-12	事業名	生活困窮者自立支援事業							
指標の内容	自立相談支援事業における相談件数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	相談に来られた方全てに対応しているため、目標値は記載せず。		
相談者の自立を支援することが本事業の目的であるため	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	-	195.0	126.0	112.0	178.0	205.0			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
整理番号	健福-12	事業名	生活困窮者自立支援事業							
指標の内容	学習支援事業における利用者のべ人数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成28年は10月から事業開始。平成30年7月に1箇所増設。相談に来られた方全てに対応しているため、目標値は記載せず。		
利用者の自立を支援することが本事業の目的であるため	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	-	-	140.0	250.0	563.0	1,001.0			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
整理番号	健福-13	事業名	生活保護事務							
指標の内容	就労支援による就労者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
被保護者の自立を支援することが本事業の目的であり、扶助費抑制に繋がるため	目標値	-	15.0	15.0	25.0	30.0	30.0			
	実績値	13.0	17.0	23.0	29.0	24.0	41.0			
	達成率	-	113.3%	153.3%	116.0%	80.0%	136.7%			
整理番号	健福-20	事業名	高齢者施設整備事業							
指標の内容	特別養護老人ホーム定員数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
計画的整備の達成状況の把握	目標値	663.0	693.0	773.0	863.0	789.0	879.0			
	実績値	663.0	673.0	693.0	773.0	789.0	879.0			
	達成率	100.0%	97.1%	89.7%	89.6%	100.0%	100.0%			
整理番号	健福-23	事業名	高齢者雇用促進事業							
指標の内容	就業者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
アウトカム指標の達成状況の把握	目標値	-	-	6.0	58.0	64.0	75.0			
	実績値	-	-	0.0	42.0	117.0	126.0			
	達成率	-	-	0.0%	72.4%	182.8%	168.0%			
整理番号	健福-27	事業名	障害者福祉運営事業							
指標の内容	基幹相談支援センターの総合相談実績					単位	件	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
相談支援事業所の後方支援や関係機関との連携を強化することで、障害者等の相談支援、生活支援の充実が図られる。	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	-	-	80	118	378	700			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
整理番号	健福-28	事業名	障害者生活支援事業							
指標の内容	特別障害者手当等の支給人数の推移					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H23(137) H24(137) H25(147)		
(実績値のみ記載)	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	151	150	151	156	146	134			
	達成率	-	-	-	-	-	-			

整理番号	健福-29	事業名	障害者福祉サービス事業								
指標の内容	障害福祉サービス等の受給者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
地域に必要とされる障害福祉サービス等の提供体制を整備していく必要があるため。	目標値	-	-	-	-	-	-				
	実績値	1,160	1,231	1,257	1,305	1,425	1,487				
	達成率	-	-	-	-	-	-				
整理番号	健福-31	事業名	障害者就労支援事業								
指標の内容	2,000人雇用における就労者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
障害者二千人雇用事業における、達成目標の数値であるため	目標値	-	-	-	-	1,335	1,642				
	実績値	-	-	-	-	1,468	1,529				
	達成率	-	-	-	-	110.0%	93.1%				
整理番号	健福-32	事業名	障害者医療助成事業								
指標の内容	自立支援医療と医療費助成との併用者					単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
自立支援医療との併用による助成額の増加の抑制を図るため。	目標値	-	-	-	-	-	-				
	実績値	-	-	-	1,028	1,076	1,090				
	達成率	-	-	-	-	-	-				
整理番号	健福-33	事業名	障害者施設管理運営事業								
指標の内容	鎌倉はまなみ運営方法の検討					単位	-	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
民営化も含めた施設運営方法の検討を要するため	目標値	指定管理実施	指定管理実施次期管理者選定	指定管理実施	指定管理実施次期運営検討	指定管理実施次期運営検討	指定管理実施終了次期民営化				
	実績値	指定管理実施	指定管理実施次期管理者選定	指定管理実施	指定管理実施次期運営検討	指定管理実施次期運営検討	指定管理実施次期運営検討				
	達成率	-	-	-	-	-	-				
									令和2年度に民営化に向けた調整を進める。		